

# FA業界、ウェブシフト加速 今や一つのトレンドに

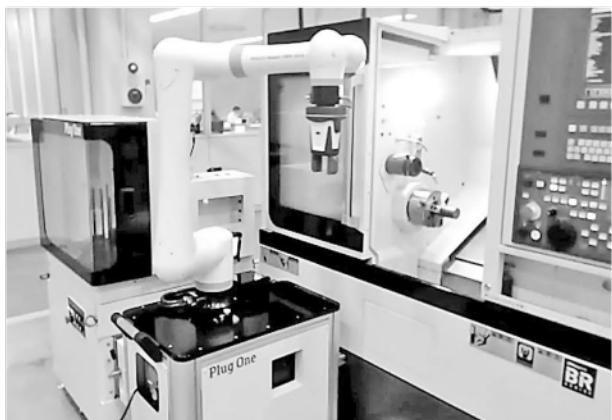
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で対面型の営業活動が制限される中、FA各社は新たなPRの手段として、7月から8月にかけてウェブ展示会やウェブセミナーを相次いで開催した。業界全体でウェブシフトが加速する中、ウェブを使ったPRは、今や一つのトレンドになりつつある。

## セットアップを効率化

**中村留精密工業**(石川県白山市、中村健一社長)は8月5日、第2回のウェブ展示会を開催した。「もっと簡単に!段取り性を高める複合加工機の新スタイル」をテーマに、工作機械とソフトウェア、自動化の3つの切り口で一押しの製品を紹介した。

工作機械では、シングルタレットの複合加工機「SC-100」を提案した。小型機ながら最大24本の工具をタレットに搭載でき、多品種少量生産でも工具交換の回数を削減して段取り替えを効率化する。ソフトでは、チャックの爪交換時間を短縮する「デジタルチャックインターロック」を解説した。

自動化では、工作機械やロボッ



中村留精密工業はプラグワンのデモを中継した(提供)

トシステム、ストッカーをワンタッチで接続できるコネクター「Plug One(プラグワン)」を披露した。配線や配管を1カ所に集約し、自動化システムのセットアップを効率化する。本社工場と中継をつなぎ、プラグワンを使ってわずか7分9秒で自動化システムをセットアップするデモを披露し、視聴者の関心を集めた。

## 高生産性支える主軸モーター

ブラザー工業は7月29日と8月7日、工作機械のウェブセミナーを開いた。両日とも同じ内容を放映した。

セミナーの内容は、小型マシンニングセンタ「SPEEDIO(スピードオ)シリーズ」の解説と、同シリーズの高い生産性を支える主

軸モーターの紹介の2本立て。主軸には、一般的に使われる誘導モーターではなく、中高速の領域でもトルクの減少を抑えられるIPMモーターを採用。主軸回転の加減速時の加速度が大きく、主軸回転まで含めた実質的な工具交換時間を短縮できる。

愛知県刈谷市の刈谷ショールームで、スピーディオの加工実演を中継し、IPMモーターの特性をアピールした。

## 遠隔で製品特徴を解説

周辺機器メーカーもウェブ展示会やウェブセミナーを積極的に開催した。

測定機器やボールねじなどを製造、販売する第一測範製作所(新潟県小千谷市、木村敬知社長)は8月3日から「リアルバー・チャル展示会」を実施する。ウェブ会議システムを使って本社ショールームと参加者のパソコンをつなぎ、同社の説明員が測定



ブラザー工業は主軸モーターについて詳しく解説した

機器を実際に操作しながら、製品の特徴を遠隔で解説する。「空気／電気マイクロメータ表示機Smp」の提案など、4つのテーマから興味のあるものを選んで申し込みれば、展示会に参加できる。

また、機構部品メーカーのスガツネ工業(東京都千代田区、菅佐原純社長)は8月20日と27日、ヘルスケア業界向けのウェブセミナーを開いた。両日とも同じ内容を放映した。セミナーでは、ロボットを使って分析装置や医療機器の扉やカバーを開閉する時の課題を提示し、それを解決するヒンジなどの機構部品を紹介した。

## 対面に代わりウェブで

産業用ロボットなどを製造するデンソーウェーブ(愛知県阿久比町、中川弘靖社長)は7月16日～18日の3日間、初のウェブ展示会「デンソー・ロボティクス・オンライン・エキスポ2020」を配信した。

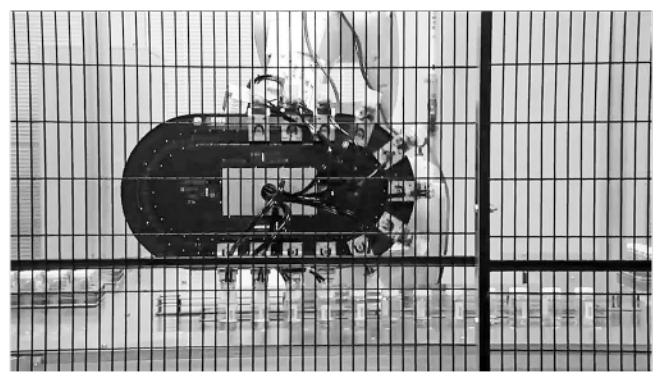
開催に先駆けて工場ソリュー

ション営業部の小林孝育部長は「『2019国際ロボット展』で参考出展した新製品やソフトを、今年7月の『ロボットテクノロジージャパン(RTJ)2020』

で正式発表する予定だった。RTJ2020はコロナ禍で中止されたため、その代わりに今回のウェブ展示会で紹介する」と話す。

ウェブ展示会の特徴は「さらにつながる」「さらに高精度」「さらに使いやすく」の3つ。新型コントローラー「RC9」を使った、垂直多関節ロボット「VMシリーズ」のリアルタイム同期制御のデモなどを映像で配信した。

また、クラウドベースのプラットフォームサービス「デンソー・ロボティクス・オンライン・エキスポ2020」の映像も初公開した。ロボットの導入検討からメンテナンスまで、さまざまな場面で顧客を支援する。サービスの提供開始日や値段は決まっていない。



デンソーウェーブはウェブ展示会で「VMシリーズ」を使ったリアルタイム同期制御のデモを配信した

## オンライン開催も決定

この他、オークマや三菱重工工作機械(滋賀県栗東市、若林謙一社長)など多くのFA企業がウェブセミナーを開いた。ウェブを使ったPRは、今や一つのトレンドになりつつある。

「第30回日本国際工作機械見本市(JIMTOF2020)」や「インターモールド2020」などの工作機械展のオンライン開催も決まり、業界全体でウェブシフトが加速する中、今後多くの企業がウェブセミナーを開く予定だ。

牧野フライス精機(神奈川県愛川町、清水大介社長)は9月10日、アライドマテリアルやアクシスマテリアと合同でウェブセミナーを開催する。「砥石(といし)」「超硬合金素材」「工具研削盤」に焦点を当て、工具研削技術向上するヒントを提供する。

(渡部隆寛、構成／桑崎厚史)



第一測範製作所の説明員が製品の特徴を遠隔で解説する「リアルバー・チャル展示会」